



平成 23 年 8 月 8 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 部 長 上 中 淳 行
電 話 番 号 0 3 (5 2 1 2) 8 7 9 0 (代 表)

平成 23 年 12 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 と
前 年 同 期 実 績 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成23年12月期第2四半期連結累計期間（平成23年1月1日～平成23年6月30日）における当社の業績につきまして、当社は業績予想を開示しておりませんので、前年同期との実績比較を開示いたします。

記

(1) 平成 23 年 12 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平 成 2 3 年 1 月 1 日 ～ 平 成 2 3 年 6 月 3 0 日) の
連 結 業 績 と 前 年 同 期 実 績 と の 差 異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前年同期実績(A) (平成22年12月期第2四半期)	506	△54	△47	△3	円 銭 △65.45
当第2四半期業績見込(B) (平成23年12月期第2四半期)	376	14	10	62	880.87
増減額(B)-(A)	△130	69	57	66	946.32
増減率(%)	△25.7	—	—	—	—

(2) 差異が生じた理由

連結売上高は、当社グループにおける重要なセグメントである情報サービス事業において、主なサービス先である金融機関のコスト削減の継続や東日本大震災の企業に及ぼす影響や欧州における金融不安などにより個人投資家の慎重姿勢が続いており、前年同期と比べ24百万円減少したこと、及びコンサルティング事業において前年同期に大口スポット契約があったことから31百万円減少いたしました。さらに、前連結会計年度において、不採算事業からの撤退を目的にシグマベースキャピタル株式会社を売却したことに伴う教育事業の売上減少額が74百万円あったことによります。

営業利益につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益を14百万円計上する見込みであります。

経常利益につきましては、営業外収益に持分法による投資利益10百万円を、営業外費用に為替差損13百万円を計上した結果、10百万円となる見込みであります。四半期純利益は、特別利益に組合持分譲渡益68百万円、特別損失に資産除去債務会計基準適用に伴う影響額11百万円をそれぞれ計上した結果、四半期純利益62百万円を計上する見込みであります。

以 上